

第二次小平市男女共同参画推進計画（平成19～28年度）

小平アクティブプラン21

推進状況調査報告書

（平成26年度実績）

平成27年9月

小平市

はじめに

本報告書は、第二次小平市男女共同参画推進計画（小平アクティブプラン 21）※の着実な推進を図るため、毎年度ごとに各事業の実績を集約し、計画の推進状況を明らかにするものです。

（※計画の期間：平成19～28年度までの10年間）

目次

1	計画の体系図	P 1
2	小平市男女共同参画推進審議会の意見	P 2
3	平成26年度推進状況調査報告書	
	Ⅰ 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立	P 4
	Ⅱ 健康で安全な生活の実現	P 13
	Ⅲ 男女共同参画意識の浸透	P 17
	Ⅳ ささまざまな分野での男女共同参画の促進	P 24
4	小平市における市政運営への女性の参画状況	P 28
	(1) 市議会	
	(2) 委員会等	
	(3) 小平市職員の男女割合	
	(4) 委員会等における男女割合（内訳）	
	（参考）管理職の状況（26市比較）	

※補足説明

（平成27年度予定欄）

「充実」：質の向上

「拡充」：数量的な増加

「推進」：新しい事業または従来事業に新しい事業を加えるもの

「継続」：制度改正等がないかぎり変更なし

「検討」：実施検討するもの

（担当課）

担当課は、平成27年度の組織改正により、担当・名称が変わった課について 旧) と 新) で表記しています。

計画の推進体制

男女共同参画推進計画を推進するために、庁内組織としての「男女共同参画推進本部、推進委員会」、公募市民と有識者、団体代表からなる「男女共同参画推進審議会」との連携を強化し、行政と市民のパートナーシップによる計画の推進・進行管理に努めることとしています。

小平市男女共同参画推進審議会

市民	4人以内
学識経験を有する者	4人以内
男女共同参画の推進に積極的に 取り組む事業者又は団体の代表	2人以内

小平市男女共同参画推進審議会規則

小平市男女共同参画推進本部（庁内）

市長
副市長
教育長
議会事務局長
企画政策部長
財務担当部長
総務部長
危機管理担当部長
市民部長
地域振興部長
子ども家庭部長
健康福祉部長
健康・保険担当部長
環境部長
都市開発部長
都市建設担当部長
会計管理者
教育部長
教育指導担当部長
地域学習担当部長
選挙管理委員会事務局長
監査事務局長（計23人）

男女共同参画推進委員会（庁内）

地域振興部長
地域振興部 市民協働・男女参画推進課長
企画政策部 政策課長
企画政策部 秘書広報課長
総務部 職員課長
市民部 市民課長
市民部 市民相談課長
地域振興部 産業振興課長
子ども家庭部 子育て支援課長
子ども家庭部 家庭支援担当課長
子ども家庭部 保育課長
健康福祉部 生活支援課長
健康福祉部 健康推進課長
環境部 環境政策課長
教育部 教育施策推進担当課長
教育部 地域学習支援課長
教育部 中央公民館長

（計17人）

小平市男女共同参画推進本部設置要綱（平成27年4月1日制定）

1 計画の体系図

基本目標Ⅰ 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立

4 施策 39 事業

(課題1) 働く場における男女の機会の均等と待遇の充実

施策1 働く場における機会均等と待遇改善のための情報提供

施策2 女性の就労支援と経済的自立の支援

(課題2) 仕事と家庭生活の両立の支援

施策1 子育て支援の充実

施策2 男性の家事・育児・介護参加への支援・充実

基本目標Ⅱ 健康で安全な生活の実現

4 施策 23 事業

(課題1) 生涯にわたる健康保持の支援

施策1 健康保持・健康づくりへの支援

施策2 女性の生涯にわたっての健康支援

(課題2) 女性に対するあらゆる暴力の根絶のための施策の推進

施策1 パートナー間暴力の防止・根絶

施策2 セクシュアル・ハラスメントの防止

基本目標Ⅲ 男女共同参画意識の浸透

5 施策 29 事業

(課題1) あらゆる場での男女共同参画意識の醸成

施策1 家庭における男女共同参画の推進

施策2 学校教育における男女共同参画の推進

施策3 生涯学習における男女共同参画の推進

(課題2) 男女共同参画の視点に立った広報活動の推進等

施策1 意識啓発事業の推進

施策2 「メディア・リテラシー」の育成

基本目標Ⅳ さまざまな分野での男女共同参画の促進

4 施策 17 事業

(課題1) 政策・方針決定過程への男女共同参画

施策1 共同参画の拡大

施策2 市職員における男女共同参画の促進

(課題2) 地域活動における男女共同参画の促進

施策1 地域活動の推進

施策2 団体への支援と人材に関する情報収集

2 小平市男女共同参画推進審議会の意見

市は毎年、計画の推進状況を市長の附属機関「小平市男女共同参画推進審議会（以下「審議会」）に報告し、公表をしています。
平成27年7月17日に開催された審議会で、平成26年度の事業実績が確認され、今後の事業展開に向けた意見をいただきました。

平成26年度事業実績に対する評価・意見

総じて昨年度並みと評価する。実績調査報告書としては、昨年から2か年の比較形式に変更し、見やすい報告書になっている。平成26年度の実績が昨年度と同様の記載だったり、平成27年度の予定が「継続」と記載されている事業が多いことに関し、取り組みが進んでいないとも一見されるが、男女共同参画の課題解決に向けた取り組みは、一朝一夕に進まず、長いスパンで取り組むことが必要である。

今年度も、行政が取り組むべき優先課題を十分に検証し、以下の視点で取り組みを推進していただきたい。

I 男女共同参画の視点

17施策108事業と、多岐にわたる事業が関連部署で取り組まれている。平成27年度も継続（予定）する事業が非常に多いが、複数年実績のない事業もある。実績のない事業はなぜないのか、取り組めない事業はなぜ取り組めないか、それらの要因を探った上で、事業目的の明確化を図っていくべきである。

II 市の体制

平成27年4月の組織改正により、男女共同参画の推進を担当する課が市民協働・男女参画推進課となった。今後の方向性としては、新しく市民協働・男女参画推進課が担当課となっている事業で、男性による介護の課題については、高齢者支援課、女性の起業・就業支援は、産業振興課に任せるというように、男女共同参画のための個別事業は担当課に任せ、市民協働・男女参画推進課の男女共同参画担当の役割は、全ての施策で男女共同参画の視点を持って行う仕組みとなるように、男女共同参画の全市の取り組みの調整役となっていく必要があると思われる。

【平成26年度の市民協働・男女参画推進課の担当事業としている事業】

(P5) 基本目標Ⅰ 施策2 ③女性の起業に対する講座の開催や情報の提供

(P12) 基本目標Ⅱ 施策2 ⑥男性の介護に対する意識啓発の推進

Ⅲ 市政運営への女性の参画状況

女性の市政参画を増やし、比率を上げていくという課題がある。前年度との比較ができる表に変更したことで、参画状況がはっきりしたことを評価する。

- (1) 平成27年5月1日現在の女性議員数が増加し、割合も6.1%増加し、35.7%となった。
- (2) 委員会等では、平成27年4月1日現在の附属機関数が増加したが、女性委員のいる附属機関の割合は3.1%減少した。附属機関の委員総数、女性委員数は増加し、女性委員の割合も1.3%増加し、37.8%となった。その他の類似機関では、委員総数、女性委員数とも増加したが、割合は2.6%減少し、45.4%となっている。委員会等の合計では、女性委員のいる委員会数の割合は2.9%減少し、93.8%となった。委員総数に対する女性委員数は0.1%の微増となり、39.5%となった。
- (3) 平成27年4月1日現在の市役所の管理職総数、女性管理職総数、係長職総数、女性係長数が増え、女性割合は増加した。職員総数のうちの女性職員数の割合は0.4%の微増であった。

女性の市政参画を増やし、男女共同参画を着実に進めていくため、平成28年度を終期とする本計画実施期間に、全審議会・委員会等において、女性委員の比率を30%以上とすることを、ぜひとも達成いただきたい。

Ⅳ 市民目線での報告・公表

昨年度から、本審議会の提案を取り入れ、事業実績について2年分を対比する形式になっていることは評価できる。部署によって差がある記述内容を統一し、よりわかりやすい報告書となるようさらなる改善が必要である。実績欄には、市がどのような視点で行なったのか等、具体的な工夫が説明されているとわかりやすく、男女共同参画の推進に繋がる。結果だけの公表ではなく、PDCAサイクル（管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。）の考え方で、課題と次年度を見据えた改善点を記入することを検討してほしい。

Ⅴ 今後、進捗状況評価にむけての課題

男女共同参画推進審議会の下に進捗状況を点検する部会をつくり、実績報告とは別に、推進計画に対する成果が出ている部分と、出ていない部分を点検し、担当課に追加調査を行った上で、成果を評価するという方法も取り入れることを提案する。

3 平成26年度推進状況調査報告書

基本目標 I 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立

(課題1) 働く場における男女の機会の均等と待遇の充実

施策1 働く場における機会均等と待遇改善のための情報提供

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
①	男女平等の労働条件整備の働きかけ				
	・パンフレット配布、ポスター掲示による啓発	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	男女雇用平等推進月間に、ポスター、チラシ(東京都作成)の掲示や配架を行なった。	男女雇用平等推進月間(6月)のポスター掲示、窓口での資料・チラシの配架等を行った。	継続
	・市報「こだいら」等による啓発				
	・資料配布等による労働環境整備の啓発	産業振興課	啓発のためのポスター、チラシ(東京都、ハローワーク等作成)の掲示、配架を行った。	啓発のためのポスター、チラシ(東京都、ハローワーク等作成)の掲示、配架を行った。	継続
②	ポジティブ・アクション実施の促進	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課、 職員課	管理職研修を実施(26年1月)。 「自治体でポジティブ・アクションをすすめるために」 講師:武石恵美子 (法政大学キャリアデザイン学部教授) 参加者:37人(管理職・係長職)	(職員課) 次世代育成支援対策推進法に基づき特定事業主行動計画「HAPPY こだいら」を策定した。(平成27年3月)	継続
③	パートタイム労働法などの事業者への普及	産業振興課	啓発のためのポスター、チラシ(東京都、ハローワーク等作成)の掲示、配架を行った。	啓発のためのポスター、チラシ(東京都、ハローワーク等作成)の掲示、配架を行った。	継続
④	ハローワークと連携した求人情報の提供	産業振興課	ハローワーク立川からの求人情報チラシ等の掲示、配架等をした。	ハローワーク立川からの求人情報チラシ等の掲示、配架等をした。	継続
⑤	職業訓練校等と連携した能力開発機会の提供	産業振興課	職業能力開発に関するチラシ等の配架を行った。	職業能力開発に関するチラシ等の配架を行った。	継続
⑥	男女共同参画に関連した入札制度の研究	旧)契約管財課 新)契約検査課	工事請負契約3件の総合評価方式を実施し、評価項目として「男女共同参画の推進(育児・介護休業制度等の有無)又は母子家庭等への就労を支援する取り組みの実績」を加点対象とし、施策の取得実績のある業者を加点対象とした。なお、配点として、2つ以上の施策の取得実績があれば2点、1つの施策の取得実績があれば1点としている。	工事請負契約3件の総合評価方式を実施し、評価項目として「男女共同参画の推進(育児・介護休業制度等の有無)又は母子家庭等への就労を支援する取り組みの実績」を加点対象とし、施策の取得実績のある業者を加点対象とした。 なお、配点として、2つ以上の施策の取得実績があれば2点、1つの施策の取得実績があれば1点としている。 ※平成27年度より、「取り組みの実績」から「継続的に雇用している実績」に評価項目を改正した。	継続

施策2 女性の就労支援と経済的自立の支援

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	就職・再就職や職業能力開発のための教育・学習支援セミナーの開催	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	女性のための就労支援講座を開催(3回講座)。 講座名:「女性限定!おしごと応援講座 —自己表現力を磨く—」 講師:小泉 久子(キャリアカウンセラー) 都戸川 八恵(カラーコーディネーター) 参加者:延べ53人 保育:延べ18人	女性のための就労支援講座を開催(連続3回講座)。 講座名:「自分らしさを引き出して 輝くわたしに」 講師:小泉 久子 (産業カウンセラー・キャリアカウンセラー) 結木 利奈(㈱インビジブルビジョンズ代表) 参加者:延べ32人 保育:延べ9人	継続
		産業振興課	ハローワーク、東京都等で開催するセミナー等の広報を行った。	ハローワーク、東京都等で開催するセミナー等の広報を行った。	継続
②	マザーズハローワーク、こだいら就職情報室等の活用と広報の充実	旧)青少年男女平等課 新)子育て支援課	母子自立支援員による就労相談・支援で活用し、必要な情報提供を行なった。	母子・父子自立支援員による就労相談・支援で活用し、必要な情報提供と、チラシの配架を行った。	継続
		産業振興課	市報にPRを随時掲載し、こだいら就職情報室の利用促進を図った。	市報にPRを随時掲載し、こだいら就職情報室の利用促進を図った。	継続
③	女性の起業に対する講座の開催や情報の提供	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	チラシ等の配架による情報提供を行った。	チラシ等の配架による情報提供を行った。	継続
		産業振興課	東京都等で実施する事業のポスター、チラシの掲示、配架を行った。	東京都等で実施する事業のポスター、チラシの掲示、配架を行った。	継続
④	事業支援の充実				
	・小口事業資金融資	産業振興課	小規模な事業を営む経営者を支援するため、金融機関に融資のあっせんをし、利子及び信用保証料の一部補助を実施した。また、「不況対策特別資金融資あっせん制度」で小規模事業者の資金繰りを支援した。	小規模な事業を営む経営者を支援するため、金融機関に融資のあっせんをし、利子及び信用保証料の一部補助を実施した。また、「不況対策特別資金融資あっせん制度」で小規模事業者の資金繰りを支援した。	継続
	・国民金融公庫融資「女性・中高年起業家支援資金」の紹介	産業振興課	チラシの配架等でPRを実施した。 ※名称変更:日本政策金融公庫融資「女性、若者/シニア起業家支援資金」	チラシの配架等でPRを実施した。	継続
	・「家族経営協定」の紹介	産業振興課	認定農業者の育成・推進を図り、新たに1人の認定農業者が誕生し、10人を再認定したが、家族経営協定を締結した農家はなかった。	認定農業者の育成・推進を図り、新たに4人の認定農業者が誕生し、計63人(事業者)となった。認定農業者のうち、家族経営協定は4件で変更なし。	継続
⑤	母子家庭の経済的自立のための支援 ・母子相談事業の実施	旧)青少年男女平等課 新)子育て支援課	ハローワークと連携し、就労相談・支援の充実を図るとともに、修学等に必要な資金の貸付を実施。 ・就労相談件数:99件 ・母子福祉資金貸付件数:99件	ハローワークと連携し、就労相談・支援の充実を図るとともに、修学等に必要な資金の貸付を実施。 ・就労相談件数:100件 ・母子及び父子福祉資金貸付件数:83件	継続

(課題2) 仕事と家庭生活の両立の支援

施策1 子育て支援の充実

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
①	子ども家庭支援センター、子育て相談窓口の充実	旧)児童課 新)子育て支援課	子ども家庭支援センター 利用者数：13,057人 活動件数：5,402件 子育て相談室 相談件数：502件 子育てふれあい広場 市立保育園全園 地域センター等11か所 子ども広場 地域センター等6か所	子ども家庭支援センター 利用者数：13,311人 活動件数：19,101件 ※活動件数の捉え方を児童相談所に合わせ、相談家庭数から相談対象の子どもの数に変更。 子育て相談室 相談件数：380件 子育てふれあい広場 市立保育園全園 地域センター等11か所 子ども広場 地域センター等6か所	継続
②	ファミリー・サポート・センター事業の充実	旧)児童課 新)子育て支援課	会員登録数(累計)2,655人 利用会員：2,270人 提供会員：336人 両方会員：49人 利用件数：5,183件	会員登録数(累計)2,894人 利用会員：2,485人 提供会員：360人 両方会員：49人 利用件数：4,004件	継続
③	児童・青少年が活動する場の充実・拡大	旧)児童課 新)子育て支援課	児童館事業(3か所) 年間利用者数 花小金井南児童館：小学生11,052人 中学生2,343人 高校生411人 小川町二丁目児童館：小学生12,681人 中学生3,262人 高校生1,124人 小川町一丁目児童館：小学生15,544人 中学生2,569人 高校生449人	児童館事業(3か所) 年間利用者数 花小金井南児童館：小学生9,183人 中学生2,671人 高校生762人 小川町二丁目児童館：小学生13,189人 中学生3,220人 高校生592人 小川町一丁目児童館：小学生13,884人 中学生3,769人 高校生1,154人	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
③	(前ページ続き) 児童・青少年が活動する場の充実・拡大	旧)児童課 新)子育て支援課	子ども広場(6か所) 年間利用者数 小川東町地域センター：小学生 3,367人 中学生 530人 さわやか館：小学生 7,332人 中学生 1,127人 中島地域センター：小学生 2,666人 中学生 339人 大沼地域センター：小学生 4,034人 中学生 223人 天神地域センター：小学生 5,293人 中学生 1,063人 上水本町地域センター：小学生 2,964人 中学生 1,288人	子ども広場(6か所) 年間利用者数 小川東町地域センター：小学生 2,864人 中学生 771人 さわやか館：小学生 10,095人 中学生 1,260人 中島地域センター：小学生 3,182人 中学生 617人 大沼地域センター：小学生 4,718人 中学生 151人 天神地域センター：小学生 5,093人 中学生 1,158人 上水本町地域センター：小学生 3,292人 中学生 1,404人	
③	児童・青少年が活動する場の充実・拡大	旧)青少年男女平等課 新)子育て支援課	青少年センター 年間利用者数 7,973人 (前年度比+101人) (内訳) 市内 1,694人、市外 4,782人、他 1,497人 (参考) ・小学生：3,460人 ・中学生：2,366人 ・高校生等：425人	青少年センター 年間利用者数 9,622人 (前年度比+1,649人) (内訳) 市内 1,765人、市外 6,225人、他 1,632人 (参考) ・小学生：3,881人 ・中学生：3,081人 ・高校生等：746人	継続 (平成27年度末廃止)
		旧)生涯学習推進課 新)地域学習支援課	青少年リーダー養成講座の実施。 (年間14講座) ・ジュニア(小学5・6年生)：40人 ・シニア(中学1年生～高校3年生)：44人 姉妹都市小平町との青少年少女交歓交流事業の実施 (小平町で4泊5日)。	青少年リーダー養成講座の実施。 (年間14講座) ・ジュニア(小学5・6年生)：40人 ・シニア(中学1年生～高校3年生)：51人 姉妹都市小平町との青少年少女交歓交流事業の実施 (小平市で3泊4日)。	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
④	「児童虐待を防止するネットワーク」の 充実	旧)児童課 新)子育て支援課	要保護児童対策協議会代表者会議を1回、実務者 部会を3回開催した。 小平市地区連絡協議会に学校、児童相談所、民生 委員・児童委員協議会が参加し、ネットワークの 強化に努めた。	要保護児童対策協議会代表者会議を1回、実務者部会を 3回開催した。 小平市地区連絡協議会に学校、児童相談所、民生委員・ 児童委員協議会が参加し、ネットワークの強化に努め た。	継続
		関連部署	(指導課) 小平市地区連絡協議会に小・中学校全校が参加し、 ネットワークの強化に努めた。	(指導課) 小平市地区連絡協議会に小・中学校全校が参加し、ネッ トワークの強化に努めた。	継続
⑤	保育事業の充実				
	・子どもショートステイ事業	旧)児童課 新)子育て支援課	利用延べ人数 92人(前年比-21人)	利用延べ人数 121人(前年比+29人)	継続
	・幼稚園アットホーム事業	保育課	実施園:8園 利用児童数:2,935人(延べ)	実施園:8園 利用児童数:3,354人(延べ)	継続
	・市内保育施設入所可能数の一覧表 作成	保育課	実施済 (保育課窓口、市ホームページに掲載)	実施済 (保育課窓口、市ホームページに掲載)	継続
	・緊急一時保育事業	保育課	実施園:公立10園 利用児童数:33人(延べ) 利用日数:232日(延べ) このほか、就学前児童の一時的な保育を行う事業 として、認可保育園において一時預かり事業を実 施した。 実施園:7園(私立6園、公立1園) 利用児童数:5,874人(延べ) 実施日数:1,540日(延べ)	実施園:公立10園 利用児童数:20人(延べ) 利用日数:214日(延べ) このほか、就学前児童の一時的な保育を行う事業と して、認可保育園において一時預かり事業を実施した。 実施園:7園(私立6園、公立1園) 利用児童数:6,569人(延べ) 実施日数:1,708日(延べ)	継続
	・保育園の待機児童の解消	保育課	平成25年4月1日現在の待機児童数:174人 (前年比5人減) 平成25年4月に私立保育園3園の新規開設(定員 計220人)及び6月に私立保育園1園の新規開設 (定員100人)により、計320人の定員増を行っ た。 また、平成25年10月に認定家庭福祉員を1施設 新規開設し、5人の定員増を図った。	平成26年4月1日現在の待機児童数:167人 (前年比7人減) 平成26年4月に私立保育園2園の新規開設(定員計160 人)、5~7月に私立保育園3園の新規開設(定員計166 人)及び既存園1園の定員変更により、計327人の定員 増を行った。	拡充

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
⑥	学童クラブの充実	旧)児童課 新)子育て支援課	学童クラブ 27 か所で実施。 年間延べ登録児童数：331,947 人 年間延べ出席人数：191,156 人 年間開設日数：294 日	学童クラブ 28 か所で実施。 年間延べ登録児童数：345,609 人 年間延べ出席人数：198,339 人 年間開設日数：293 日	継続
⑦	地域の子育て支援の充実 ・子育て支援事業 ○ 子育てふれあい事業 ○ 子ども広場 ○ 子育ての知恵袋	旧)児童課 新)子育て支援課	子育てふれあい広場事業については、市立保育園 10 園、地域センター等 11 か所で実施。 交流（延べ参加人数）：10,036 人 相談件数：1,107 件 子ども広場事業は 6 か所で実施。 利用者数：61,472 人 相談件数：473 件 ※平成 22 年度から「子どもつどいの広場」を「子 ども広場」に名称変更 ※「子育ての知恵袋」は平成 22 年度をもって事業 廃止	子育てふれあい広場事業については、市立保育園 10 園、 地域センター等 11 か所で実施。 交流(延べ参加人数)：10,517 人 相談件数：1,344 件 子ども広場事業は 6 か所で実施。 利用者数：70,483 人 相談件数：576 件	継続
		保育課	保育園で遊ぼう会 5 園：交流 169 人 公園で遊ぼう会（1 回）：65 人	保育園で遊ぼう会 5 園：交流 180 人 公園で遊ぼう会(1 回)：70 人	拡充
⑧	長期の育児・介護休業制度を導入する 企業の褒章等の検討	産業振興課	未検討	未検討	検討
		旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参 画推進課	情報収集に努めた。	情報収集に努めた。	検討

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
⑨	子育て支援事業の周知徹底	旧)児童課 新)子育て支援課	子育てガイドを10,000部発行。公共施設及び母子健康手帳交付時、医師会・歯科医師会を通じて市内医療機関で配布。 健康課による新生児訪問の際に、子ども家庭支援センターのリーフレット、子育てふれあい広場のチラシを配布。 子育てガイド・広場事業について市ホームページにて情報発信した。	子育てガイドを8,000部発行。公共施設及び母子健康手帳交付時、医師会・歯科医師会を通じて市内医療機関で配布。 健康課による新生児訪問の際に、子ども家庭支援センターのリーフレット、子育てふれあい広場のチラシを配布。 子育てガイド・広場事業について市ホームページにて情報発信した。	充実
⑩	ひとり親家庭へのきめ細かい支援	旧)児童課 新)子育て支援課	ひとり親家庭に対して手当の支給、医療費の助成を行い、ひとり親家庭の福祉の向上を図った。 児童扶養手当 21,171人(延人数):530,370,110円 児童育成手当 27,238人(延人数):367,713,000円 ひとり親家庭医療費助成 対象者:1,069世帯(2,074人) 医療助成費:62,327,658円	ひとり親家庭に対して手当の支給、医療費の助成を行い、ひとり親家庭の福祉の向上を図った。 児童扶養手当 20,978人(延人数):523,314,550円 児童育成手当 26,863人(延人数):362,650,500円 ひとり親家庭医療費助成 対象者:1,038世帯(2,031人) 医療助成費:60,821,062円	継続
		旧)青少年男女平等課 新)子育て支援課	母子自立支援員が、母子家庭の生活・住宅・養育や経済上の問題などの相談を行うとともに、ホームヘルパーの派遣を行った。 ・相談件数:1,720件 ・ヘルパー派遣:1,657時間(2,550,670円)	母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の生活・住宅・養育や経済上の問題などの相談を行うとともに、ホームヘルパーの派遣を行った。 ・相談件数:1,914件 ・ヘルパー派遣:1,292時間(2,112,020円)	継続
⑪	家事、子育てを支援する講座の開催	公民館	中央公民館及び分館で13コース実施。 受講者:305人 保 育:乳幼児76人	中央公民館及び分館で17コース実施。 受講者:444人 保 育:乳幼児88人	継続

施策2 男性の家事・育児・介護参加への支援・充実

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
①	家事・育児・介護教室の開催	公民館	家庭教育講座「親から子への「生きる力」のプレゼント」 1コース：9回実施 受講者：30人 高齢者学級「みんなで楽しくカラダ作り～介護予防ヨガのすすめ～」 1コース：10回実施 受講者：16人 高齢者学級「超高齢社会に向かって～さりげない見守りで支え合いを～」 1コース：10回実施 受講者：21人	家庭教育講座「親から子への「生きる力」のプレゼント」 1コース：10回実施 受講者：42人 家庭教育講座「新米パパ・ママがふたりで聞きたいこれから始まる子育ての話」 1コース：1回実施 受講者：20人 高齢者学級「60代男性に贈る、やさしいランチの作り方」 1コース：10回実施 受講者：20人 高齢者学級「はじめて学ぶ男の料理」 1コース：5回実施 受講者：15人 サタデー講座「男飯(おとこめし)」 1コース：6回実施 受講者：15人 タイムリー講座「介護は突然やってくる！知っておきたい介護のあれこれ」 1コース：10回実施 受講者：25人	継続
		旧)介護福祉課 新)高齢者支援課	家族介護教室を地域包括支援センターごとに3回、計15回開催 参加者数：291人	家族介護教室を地域包括支援センターごとに3回、計15回開催 参加者数：245人	継続
②	家事・育児に関する「出前講座」の実施の検討	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	実績なし	実績なし	継続
		旧)児童課 新)子育て支援課	「市内の子育て支援について」、「子ども・子育て支援新制度 保育の現状」を2回実施。	実績なし	継続
③	男性の育児休業取得の奨励と拡大	職員課	小平市特定事業主行動計画において周知・啓発を行った。 男性職員2人が育児休業を取得した。	小平市特定事業主行動計画において周知・啓発を行った。男性職員2人が育児休業を取得した。	継続
		産業振興課	未実施	未実施	検討

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
	父親に向けた育児支援				
	・父親のための子育て支援講座	旧)児童課 新)子育て支援課	子ども家庭支援センターの主催で、「父親講座・パパと遊ぼう！」を2回と「クリスマス会」(親子、母親の参加も可)を1回開催。 参加者：遊びとともに育つ 15組 クリスマス会 40組	子ども家庭支援センターの主催で、「父親講座・パパと遊ぼう！」を1回、父親向け「絵本の時間」を1回、「クリスマス会」(親子、母親の参加も可)を1回開催。 参加者：父親講座 8組 絵本の時間 9組 クリスマス会 59組	継続
④	・「父親ハンドブック」の配布等、父親への育児情報の提供の充実	旧)健康課 新)健康推進課	妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配布。 妊娠届出件数：1,618件	妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配布。 妊娠届出件数：1,665件	継続
	・マタニティークラス(父親教室)の充実	旧)健康課 新)健康推進課	ハローベビークラス開催：3日間1コースを年間10コース実施(うち2回は土曜クラスのみ)(延べ26日間) 父親の参加実数：256人	ハローベビークラス開催：3日間1コースを年間10コース実施(うち2回は土曜クラスのみ)(延べ26日間) 父親の参加実数：300人	継続
⑤	介護者を支援する相談窓口や情報提供の充実	旧)介護福祉課 新)高齢者支援課	地域包括支援センター(出張所を含む)9か所で介護者からの相談の受付や情報提供を行った。 (「介護保険べんり帳」「高齢者のしおり」「市報」)	地域包括支援センター(出張所を含む)9か所で介護者からの相談の受付や情報提供を行った。 (「介護保険べんり帳」「高齢者のしおり」「市報」)	継続
⑥	男性の介護に対する意識啓発の推進	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	実績なし	実績なし	検討
⑦	家族介護教室等の情報提供	旧)介護福祉課 新)高齢者支援課	地域包括支援センターで家族介護教室等の情報提供を行った。	地域包括支援センターで家族介護教室等の情報提供を行った。	継続

基本目標Ⅱ 健康で安全な生活の実現

(課題1) 生涯にわたる健康保持の支援

施策1 健康保持・健康づくりへの支援

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
①	健康づくり推進事業				
	・健康づくり指導者の講習会への参加	旧)健康課 新)健康推進課	東京都が開催する「健康づくり事業推進指導者研修」を保健師、栄養士が講習を受講。 保健師5回 栄養士2回	東京都が開催する「健康づくり事業推進指導者研修」を保健師、栄養士が講習を受講。 保健師2回 栄養士2回	継続
	・地域健康づくり推進員の委嘱	旧)健康課 新)健康推進課	平成25年度推進員人数：18人 計測会1回、薬物乱用防止キャンペーン、献血推進キャンペーン、健康フェスティバル、ピンクリボンキャンペーンに参加した。	平成26年度推進員人数：24人 計測会2回、薬物乱用防止キャンペーン、献血推進キャンペーン、健康フェスティバル、ピンクリボンキャンペーンの参加のほか、「こだ健体操」の普及啓発に努めた。	継続
	・地域健康づくりサポーター養成講座の開催	旧)健康課 新)健康推進課	平成20年度から廃止	平成20年度から廃止	—
	・健康教室事業の推進	旧)健康課 新)健康推進課	健康づくり講演会(年3回) : 109人 こだいら健康塾(年12回) : 270人 胃検診時健康教室(年39回) : 1,783人 出張健康教室(年21回) : 356人 ヘルスアップ教室(年6回) : 150人 栄養運動教室(年12回) : 395人 男の健康3日間教室(年6回) : 95人 女性のリラックス教室(年3回) : 104人 計測相談会(年6回) : 630人 ヘルスアップセミナーOB会(年5回) : 106人 お父さんのための運動教室(年1回) : 7人 健康づくり相談(年104回) : 1,096人	健康づくり講演会(年3回) : 150人 乳がん検診時健康教室(年8回) : 200人 胃検診時健康教室(年65回) : 2,496人 出張健康教室(年34回) : 728人 ヘルスアップ教室(年6回) : 144人 栄養運動教室(年14回) : 453人 こだいら健康塾～男性編～(年6回) : 86人 こだいら健康塾～女性編～(年4回) : 119人 計測相談会(年4回) : 506人 ヘルスアップセミナーOB会(年3回) : 66人 健康づくり相談(年105回) : 1,004人 こだ健体操教室(年4回) : 264人	継続
②	健康教室の充実				
	・生活習慣病予防・健康の増進・女性特有の疾病に関する知識の普及	旧)健康課 新)健康推進課	3歳児健診、就学時健診時に保護者に対し、生活習慣病予防、女性特有疾患に関するチラシを配布した。 女性のリラックス教室(年3回) : 104人	3歳児健診、就学時健診時に保護者に対し、生活習慣病予防、女性特有疾患に関するチラシを配布した。 こだいら健康塾～女性編～(年4回) : 119人	継続
	・心身の健康に関する必要な助言・指導の実施	旧)健康課 新)健康推進課	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
③	「健康づくり」「体力づくり」事業の推進	旧)体育課 新)文化スポーツ課	スポーツ教室9種目13コース：参加者1,434人 (親子体操教室・ボクシングエクササイズ・健康セラピー教室・リラクセスエクササイズ教室等) 歩け歩け事業2種目2事業：参加者777人 (小平～多摩湖歩け歩け会、新春歩け歩けのつどい) ※グリーンロード歩こう会は雨天中止 大会・スポーツまつり等：参加者5,744人 (市民スポーツまつり、市民体力測定会、こだいら市民駅伝大会、少年少女マラソン大会、ニュースポーツデー等) 多摩・島しょスポーツ振興事業 「バレーボール教室」 参加者：180人	スポーツ教室9種目11コース：参加者1,105人 (親子体操教室・ボクシングエクササイズ・健康セラピー教室・リラクセスエクササイズ教室等) 歩け歩け事業3種目3事業：参加者1,040人 (グリーンロード歩こう会、小平～多摩湖歩け歩け会、新春歩け歩けのつどい) 大会・スポーツまつり等：参加者5,639人 (市民スポーツまつり、市民体力測定会、こだいら市民駅伝大会、少年少女マラソン大会、ニュースポーツデー等) 多摩・島しょスポーツ振興事業 「FC東京選手によるトークショーとサッカー教室」 参加者：1,350人	継続
		旧)健康課 新)健康推進課	健康教室の中で、健康づくりを推進した。	健康教室の中で、健康づくりを推進した。	継続
④	心の相談等の関係機関への紹介	旧)健康課 新)健康推進課	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	継続
		旧)障害者福祉課 新)障がい者支援課	精神保健福祉相談の中で保健所、地域生活支援センター、医療機関等を紹介した。	精神保健福祉相談の中で、保健所、地域生活支援センター、医療機関等を紹介した。	継続
⑤	現代病相談(アレルギー疾患等)の関係機関への紹介	旧)健康課 新)健康推進課	随時、相談等で医療機関等を紹介した。	随時、相談等で医療機関等を紹介した。	継続
⑥	寝たきり予防のための健康講座の推進	旧)介護福祉課 新)高齢者支援課	各種内容の介護予防講座を計43回開催 参加者数：515人	各種内容の介護予防講座を計91回開催 参加者数：1,329人	継続
⑦	学校における健康安全教育の推進	指導課	学習指導要領に基づいて、指導を行っている。	学習指導要領に基づいて、指導を行っている。	継続

施策2 女性の生涯にわたっての健康支援

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	女性に関する健康教育・健康相談の充実				
	・基本健康診査、子宮がん・乳がん検診受診の勧奨	旧)健康課 新)健康推進課	子宮がん・乳がん検診通知発送時に、子宮がん・乳がん予防啓発のチラシを同封した。 基本健康診査は、平成20年度から廃止。 健康づくり講演会「女医に聞いてみたい女性の体のメカニズム」：22人 女性のリラックス教室（年3回）：104人 ピンクリボンキャンペーン（年3回）：1,891人	子宮がん・乳がん検診通知発送時に、子宮がん・乳がん予防啓発のチラシを同封した。 基本健康診査は、平成20年度から廃止。 こだいら健康塾～女性編～（年4回）：119人 ピンクリボンキャンペーン（年3回）：3,122人	継続
	・母親学級における保健教育、仲間づくり、保健指導の充実	旧)健康課 新)健康推進課	ハローベビークラスの開催：3日間1コースを年間10コース実施（うち2回は土曜クラスのみ）（延べ26日間） 妊婦参加実数：356人	ハローベビークラスの開催：3日間1コースを年間10コース実施（うち2回は土曜クラスのみ）（延べ26日間） 妊婦参加実数：362人	継続
②	母子保健事業の充実	旧)健康課 新)健康推進課	育児不安の強い母親を対象としたグループワーク及び相談会を、それぞれ年12回実施。	育児不安の強い母親を対象としたグループワークを年12回実施。	継続

(課題2) 女性に対するあらゆる暴力の根絶のための施策の推進

施策1 パートナー間の暴力の防止・根絶

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	暴力と人権侵害防止に関する知識の普及・啓発の強化	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	デートDV防止に関する学校出前講座を実施。 講座名：「デートDVって何？」 （平成25年7月、計2回） 会 場：大妻女子大学狭山台校 講 師：アウェア認定ファシリテーター 参加者：107人（大学1年生）	デートDV防止に関する学校出前講座を実施。 講座名：「イチからわかるデートDV」 （平成27年1月、計1回） 会 場：東京学芸大学 講 師：アウェア認定ファシリテーター 参加者：47人（大学1～4年生）	継続
②	DVに関するパンフレットの作成	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	情報提供（内閣府、東京都パンフレット及び相談カードの配架）を行った。	情報提供（内閣府、東京都パンフレット及び相談カードの配架）を行った。	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
③	女性相談窓口の充実と関係機関との連携	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	女性相談室 平成25年度 相談件数800件/294日 (電話相談427件、面談373件) 市報、横断幕の掲示による周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋がっている。	女性相談室 平成26年度 相談件数888件/293日 (電話相談447件、面談441件) 市報、横断幕の掲示による周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋がっている。	継続
④	母子自立支援員による相談指導、情報提供	旧)青少年男女平等課 新)子育て支援課	相談者の状況に応じた適切な対応に努めた。	相談者の状況に応じた適切な対応に努めた。	継続
⑤	緊急一時保護の充実	旧)青少年男女平等課 新)子育て支援課	被害者の安全確保を最優先に、関係機関と連携し迅速かつ組織的な対応に努めた。	被害者の安全確保を最優先に、関係機関と連携し迅速かつ組織的な対応に努めた。	継続
⑥	DV加害者対策の研究	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	実績なし	実績なし	検討
⑦	民間シェルターへの支援	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	民間シェルター連絡会へ補助金を交付した。	民間シェルター連絡会へ補助金を交付した。	継続

施策2 セクシュアル・ハラスメントの防止

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	女性相談窓口の充実と関係機関との連携(再掲)	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	平成25年度 相談件数800件/294日 (電話相談427件、面談373件) 市報、横断幕の掲示による周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋がっている。	平成26年度 相談件数888件/293日 (電話相談447件、面談441件) 市報、横断幕の掲示による周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋がっている。	継続
②	暴力と人権侵害防止に関する知識の普及・啓発の強化(再掲)	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	デートDV防止に関する学校出前講座を実施。 講座名：「デートDVって何？」 (平成25年7月、計2回) 会場：大妻女子大学狭山台校 講師：アウェア認定ファシリテーター 参加者：107人(大学1年生)	デートDV防止に関する学校出前講座を実施。 講座名：「イチからわかるデートDV」 (平成27年1月、計1回) 会場：東京学芸大学 講師：アウェア認定ファシリテーター 参加者：47人(大学1～4年生)	継続

基本目標Ⅲ 男女共同参画意識の浸透

(課題1) あらゆる場での男女共同参画意識の醸成

施策1 家庭における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
①	意識啓発事業の充実				
	・広報誌「ひらく」の発行と広域配布の検討	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	公募市民(小平市男女共同参画推進実行委員会)の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行。 ・33号 8,000部(10月発行) ・34号 8,000部(3月発行) 創刊(平成9年1月)当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。広域配布については要検討。	公募市民(小平市男女共同参画推進実行委員会)の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行。 ・35号 8,000部(10月発行) ・36号 8,000部(3月発行) 創刊(平成9年1月)当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。市内の公共施設や銀行、学校等、配布先を増やした。	継続
	・「女と男のフォーラム」等の開催	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	男女共同参画週間に合わせて講演会を開催。(小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成25年6月29日(土)中央公民館 「あなたの働き方を変えてみませんか—個人も組織も成長するワーク・ライフ・バランス—」 講師:佐々木常夫(株東レ経営研究所特別顧問) 参加者:148人 保育:7人	男女共同参画に関する講演会を開催。 (小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成27年2月21日(土)中央公民館 「笑って笑って考えよう 生き方 働き方 未来のこと」 講師:瀬地山 角(東京大学大学院教授) 参加者:83人 保育:5人	継続
	・意識啓発講座の開催	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	女と男の参画講座を開催。(小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成25年12月~26年1月(全4回講座) 「東日本大震災に学ぶ『防災・避難・復興』」 参加者:延べ172人 保育:0人	男女共同参画推進委員会、男女共同参画センター登録団体共催による講座を実施。 ・NPOフェスタ in 元気村ひろば2014 参加者:延べ130人 ・ワールドカフェ 2回 参加者:延べ59人 保育:延べ7人	継続
・「父親ハンドブック」の配布等、父親への育児情報の提供の充実(再掲)	旧)健康課 新)健康推進課	妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配布。 妊娠届出件数:1,618件	妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配布。 妊娠届出件数:1,665件	継続	

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
②	子育てと介護の支援	旧)児童課 新)子育て支援課	第1節のとおり事業実施。	第1節のとおり事業実施。	継続
		旧)介護福祉課 新)高齢者支援課	家族介護教室を地域包括支援センターで各3回、 計15回開催 参加者数：291人	家族介護教室を地域包括支援センターで各3回、 計15回開催 参加者数：245人	継続
③	生活実践講座の開催				
	・シルバー大学	公民館	<p>・分館10館 受講者数199人、講座開設回数102回 (各分館10~12回)</p> <p>・中央公民館(シルバー大学) 受講者数64人、講座開設回数61回</p> <p>高齢者の生きがいのある社会づくりを目指し、高齢者の自己啓発と社会活動への積極的な参加と仲間づくりや交流を行い、教養・学習、趣味・技術、レクリエーション等の総合学習の場とした。これまで中央公民館だけで実施していたが、平成25年度からは、全ての分館で実施し、拡充を図った。また、中央公民館では、これまで高齢者学級を「シルバー大学」として半年間実施していたが、1年間の継続とした学習に変更した。また、前年度の受講者を2年生として受け入れるなど、高齢者学級の拡充を図った。</p>	<p>・分館10館 受講者数271人、講座開設回数100回 (各分館10回)</p> <p>・中央公民館(シルバー大学) 受講者数45人、講座開設回数79回</p> <p>高齢者の生きがいのある社会づくりを目指し、高齢者の自己啓発と社会活動への積極的な参加と仲間づくりや交流を行い、教養・学習、趣味・技術、レクリエーション等の総合学習の場とした。</p>	充実
	・女性問題関連の講習会、女性セミナー等	公民館	<p>市民講座の一環とし、「女性の生き方・権利等に関する講座」という事業名で開催。</p> <p>前期1コース(10回)・後期2コース(10回・2回)：受講115人</p> <p>女性の生き方等をテーマに行っている。保育付きで行うこの講座は、人生観が変わるきっかけにもなる。今後も引き続き実施する。</p>	<p>市民講座の一環とし、「女性の生き方・権利等に関する講座」という事業名で開催。</p> <p>前期1コース(10回)・後期1コース(11回)：受講37人</p> <p>女性の生き方等をテーマに行っている。保育付きで行うこの講座は、人生観が変わるきっかけにもなる。今後も引き続き実施する。</p>	継続

施策2 学校教育における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	教職員研修の充実	指導課	人権教育推進委員会や各学校における人権に関わる研修会等にて東京都人権施策推進指針に基づき研修を行った。	人権教育推進委員会や各学校における人権に関わる研修会等にて東京都人権施策推進指針に基づき研修を行った。	継続
②	進路指導の推進・充実	指導課	進路指導主任会で男女共同参画の視点を踏まえた指導を行うよう各学校に働きかけを行った。	進路指導主任会で男女共同参画の視点を踏まえた指導を行うよう各学校に働きかけを行った。	継続
③	健康安全教育に関する個別相談・指導の充実	指導課	学習指導要領に基づいて、発達段階に応じた指導を行った。また、小・中学校全校にスクールカウンセラーを配置している。	学習指導要領に基づいて、発達段階に応じた指導を行った。また、小・中学校全校にスクールカウンセラーを配置している。	継続
④	男女共同参画を意識した技術・家庭科教育の充実	指導課	学習指導要領に基づいて、指導を行った。	学習指導要領に基づいて、指導を行った。	継続

施策3 生涯学習における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	夜間や休日に開催する講座の充実	公民館	<p>夜間講座 13 コース 95 回：受講 357 人 サタデー講座 6 コース 30 回：受講 116 人 ヤングセミナー後期（夜間） 1 コース 7 回：受講 11 人 市民講座（憲法講座） 1 コース 10 回：受講 29 人</p> <p>仕事などで昼間、公民館を利用できない人のための夜間講座は各公民館で開催している。</p> <p>ヤングセミナーは、青年の地域離れ等により、人集めに苦勞している面もあるが、講座内容を工夫し、PRを徹底することに努める。</p> <p>憲法講座は、平日昼間に実施していたが、新たな受講者を確保するため、夜間での実施を試みた。</p>	<p>夜間講座 12 コース 105 回：受講 227 人 サタデー講座 5 コース 29 回：受講 90 人</p> <p>仕事などで昼間、公民館を利用できない人のための夜間講座は各公民館で開催している。</p>	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
②	保育付き講座の充実	公民館	<p>保育付き主催講座9コース：乳幼児延べ767人</p> <p>保育は子育て中の方の公民館活動を支援する重要な事業である。今後も「保育オリエンテーション」や運営会議等を実施し、利用者に対して保育事業の主旨を周知し、安全、安心な運営に努める。</p>	<p>保育付き主催講座14コース：乳幼児延べ877人</p> <p>保育は子育て中の方の公民館活動を支援する重要な事業である。今後も「保育オリエンテーション」や運営会議等を実施し、利用者に対して保育事業の主旨を周知し、安全、安心な運営に努める。</p>	継続
③	青少年育成施策の充実	旧)青少年男女平等課 新)健康推進課	薬物乱用防止のポスター・標語募集、駅前キャンペーンを実施した。	薬物乱用防止のポスター・標語募集、駅前キャンペーンを実施した。	継続
		旧)青少年男女平等課 新)地域学習支援課	<p>青少年健全育成講演会の開催</p> <p>「ジャーナリストが語る少年事件の背景」</p> <p>平成26年2月1日(土)</p> <p>講師：山本 修司 (毎日新聞東京本社編集局社会部長)</p> <p>参加者：30人 保育：1人</p>	<p>青少年健全育成講演会の開催</p> <p>「最高の出会いが子どもたちを変える」</p> <p>平成26年11月19日(水)</p> <p>講師：伊藤 幸弘 (青少年育成コーディネーター)</p> <p>参加者：49人 保育：5人</p>	継続
④	生涯学習関係の指導者の育成	旧)生涯学習推進課 新)地域学習支援課	社会教育委員、青少年委員に啓発パンフレット等を配付した。	社会教育委員、青少年委員に啓発パンフレット等を配付した。	継続
⑤	男女平等の視点に立った大学公開講座の要請	旧)青少年男女平等課、 地域文化課 新)市民協働・男女参画推進課	<p>地域文化課では、大学との連携として、大学が主催する公開講座を市報に掲載している。</p> <p>この中で、男女平等の視点に立った大学公開講座の要請を行った結果、津田塾大学において「女性のリーダーシップから学ぶ」をシリーズとして実施した。</p>	平成25年度に引続き「女性のリーダーシップから学ぶ」をシリーズとして実施した。	継続
⑥	男女共同参画に向けた出前講座の実施	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	<p>1回実施(平成25年4月)</p> <p>「市のDV防止の取り組み及びDV被害者への支援」</p>	<p>1回実施(平成27年1月)</p> <p>「市のDV防止の取り組み及びDV被害者への支援」</p>	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
⑦	各種支援ボランティアの拡大・充実	旧)生涯学習推進課 新)地域学習支援課	小平地域教育サポート・ネット事業の実施。 学校支援ボランティア活動。 ・人数：34,615人(延べ) ・時間：57,075時間(延べ) ・講座開催数：97講座 ・参加者数：延べ2,996人(延べ)	小平地域教育サポート・ネット事業の実施。 学校支援ボランティア活動。 ・人数：37,019人(延べ) ・時間：60,346時間(延べ) ・講座開催数：110講座 ・参加者数：3,180人(延べ)	継続
		図書館	図書整理などを行う一般ボランティア、古文書整理の古文書ボランティア、地域情報のデジタル化作業を行っている情報ボランティア、対面朗読を行う音訳ボランティア及びカセットテープからデジタイズ図書への変換作業を行うデジタイズ図書編集ボランティアの5つのグループが活動している。 平成24年度から、音訳ボランティアを募集し活動が始まったことにより、対面朗読サービスの迅速な提供が可能となったほか、録音図書制作を進めることができた。また、デジタイズ図書編集ボランティアについては、平成25年度から本格的に活動を開始し、カセットテープの録音図書のデジタイズ化を行った。 ボランティアの活動実績 255日 890人	図書整理などを行う一般ボランティア、古文書整理の古文書ボランティア、地域情報のデジタル化作業を行っている情報ボランティア、対面朗読を行う音訳ボランティア及びカセットテープからデジタイズ図書への変換作業を行うデジタイズ図書編集ボランティアの5つのグループが活動している。 ボランティアの活動実績 218日 766人	継続

(課題2) 男女共同参画の視点に立った広報活動の推進等

施策1 意識啓発事業の推進

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	広報誌「ひらく」の発行と広域配布の検討(再掲)	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	公募市民(小平市男女共同参画推進実行委員会)の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行。 ・33号 8,000部(10月発行) ・34号 8,000部(3月発行) 創刊(平成9年1月)当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。広域配布については要検討。	公募市民(小平市男女共同参画推進実行委員会)の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行。 ・35号 8,000部(10月発行) ・36号 8,000部(3月発行) 創刊(平成9年1月)当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。市内の公共施設や銀行、学校等、配布先を増やした。	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
②	「女と男のフォーラム」等の開催（再掲）	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	男女共同参画週間に合わせて講演会を開催。(小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成25年6月29日(土)中央公民館 「あなたの働き方を変えてみませんか—一個人も組織も成長するワーク・ライフ・バランス—」 講師：佐々木 常夫(榊東レ経営研究所特別顧問) 参加者：148人 保育：7人	男女共同参画に関する講演会を開催。 (小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成27年2月21日(土)中央公民館 「笑って笑って考えよう 生き方 働き方 未来のこと」 講師：瀬地山 角(東京大学大学院教授) 参加者：83人 保育：5人	継続
③	意識啓発講座の開催（再掲）	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	女と男の参画講座を開催。(小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成25年12月～26年1月(全4回講座) 「東日本大震災に学ぶ『防災・避難・復興』」 参加者：延べ172人 保育：0人	男女共同参画推進委員会、男女共同参画センター登録団体共催による講座を実施。 ・NPOフェスタ in 元気村ひろば2014 参加者：延べ 130人 ・ワールドカフェ 2回 参加者：延べ59人 保育：述べ7人	継続
④	市報「こだいら」・ホームページによる啓発	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	男女共同参画週間に合わせた掲載など、効果的な啓発に努めた。 (秘書広報課) 男女共同参画に関するイベントの周知 各メディアに対し積極的にプレスリリースを行った。	男女共同参画週間に合わせた掲載など、効果的な啓発に努めた。 (秘書広報課) 男女共同参画に関するイベントの周知 各メディアに対し積極的にプレスリリースを行った。	継続
⑤	アクティブプラン21の市民への周知	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	公共施設や市政資料コーナーなどで閲覧できるよう配置するほか、ホームページに掲載。	公共施設や市政資料コーナーなどで閲覧できるよう配置するほか、ホームページに掲載。	継続
⑥	男女平等の視点に立った市刊行物発行のガイドラインの充実	秘書広報課	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)を庁内に周知し、さらなる意識の向上を図った。	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)を庁内に周知し、さらなる意識の向上を図った。	継続
⑦	市の刊行物において、表現や男女の比率などへの留意	各課	(秘書広報課) 市報「こだいら」にて人物のイラストを用いる際には、女性と男性を併用して、男女の平等感の表現に努めた。 (職員課) 職員採用案内に登場する職員に女性を含めている。	(秘書広報課) 市報「こだいら」にて人物のイラストを用いる際には、女性と男性を併用して、男女の平等感の表現に努めた。 (職員課) 職員採用案内に登場する職員に女性を含めている。	継続

施策2 「メディア・リテラシー」の育成

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	市報「こだいら」の充実	秘書広報課	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)をもとに、市報「こだいら」の作成に当たっても意識を持つようになっている。また、人物のイラストや写真を用いる際には、できる限り女性と男性、子どもを多用して、平等感の表現に努めた。	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)をもとに、市報「こだいら」の作成に当たっても意識を持つようになっている。また、人物のイラストや写真を用いる際には、できる限り女性と男性、子どもを多用して、平等感の表現に努めた。	継続
②	メディア・リテラシー育成のための講座の開催	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	未実施	小平市国分寺市共催講演会を開催。 平成26年6月7日(土)国分寺Lホール 「番組やCMのシカケの裏側をのぞく」 講師：諸橋 泰樹(フェリス女学院大学教授) 参加者：97人	検討
③	学校でのメディア・リテラシーの教育の充実	指導課	小学校では「総合的な学習の時間」を中心に、中学校では「技術・家庭(技術分野)」にて指導を行った。	小学校では「総合的な学習の時間」を中心に、中学校では「技術・家庭(技術分野)」にて指導を行った。	継続
④	図書等の充実	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	広報誌「ひらく」で紹介した書籍を男女共同参画センターに配架し、貸出しを行った。	広報誌「ひらく」で紹介した書籍を男女共同参画センターに配架し、貸出しを行った。	継続
		図書館	関係分野の蔵書に努めた。	関係分野の資料収集に努めた。	継続

基本目標Ⅳ さまざまな分野での男女共同参画の推進

(課題1) 政策・方針決定過程への男女共同参画

施策1 共同参画の拡大

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	審議会・委員会等における女性委員の参画促進	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行なうことで、参画促進への協力を促した。	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行なうことで、参画促進への協力を促した。	継続
②	各種機関への女性登用の協力要請	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行なうことで、参画促進への協力を促した。	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行なうことで、参画促進への協力を促した。	継続
		関連部署 旧)秘書広報課 新)市民相談課	(秘書広報課) 法律相談の女性利用者の視点から、離婚相談などへの配慮として女性弁護士の派遣依頼を行ったため、女性弁護士による相談が受けられるようになった。 相談員の約半数以上が女性弁護士となった。	(秘書広報課) 法律相談の女性利用者の視点から、離婚相談などへの配慮として女性弁護士の派遣依頼を行い、女性弁護士による相談が受けられるようになった。 法律相談弁護士6人のうち3人の女性弁護士が担当した。	継続
③	女性の政策・方針決定過程への参画状況調査の実施と情報公開の促進	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	審議会・委員会等における男女共同参画の推進状況調査を実施し「小平市男女共同参画推進審議会」へ報告した。	審議会・委員会等における男女共同参画の推進状況調査を実施し「小平市男女共同参画推進審議会」へ報告し、情報公開した。	継続
④	審議会等附属機関の市民公募枠の拡大	政策課	審議会等における市民公募委員については、委員の改選時をとらえながら、現行の委員総数の枠内でできる限り、委員数の概ね4割から5割の水準で公募枠を確保するよう調整を行った。	審議会等における市民公募委員については、委員の改選時をとらえながら、現行の委員総数の枠内でできる限り、委員数の概ね4割から5割の水準で公募枠を確保するよう調整を行った。	継続
⑤	男女共同参画推進活動団体等の支援	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	男女共同参画センター(愛称:ひらく)登録団体に対して、団体利用や印刷利用を通じて自主活動を支援した。	男女共同参画センター(愛称:ひらく)登録団体に対して、団体利用や印刷利用を通じて自主活動を支援した。	継続

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
⑥	成人団体指導者養成講座の実施	公民館	市民講座の一環として3コース11回実施。 「だれでも防災クッキング」 3回：受講19人 「3.11でつながる小平の輪」 5回：受講19人 「みんなが納得できる話し合いのコツ」 3回：受講17人	市民講座の一環として3コース11回実施。 「災害を乗り越えるために必要なこと」 5回：受講25人 「3.11でつながる小平の輪」 5回：受講20人 「知的障がいを理解する」 1回：受講13人	継続
⑦	ホットHOTこだいらファミリーデー事業等 家族の絆を深める事業の啓発	旧)生涯学習推進課 新)地域学習支援課	参加事業：83件 (教育委員会10、市16、青少対54、自治会1、 ロータリークラブ2) 土曜サービスデー参加店：12店舗	参加事業：82件 (教育委員会13、市15、青少対51、自治会1、ロータリー クラブ2) 土曜サービスデー参加店：12店舗	継続

施策2 市職員における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	男女職員の職域の拡大	職員課	異動等において職域拡大に努めた。	異動等において職域拡大に努めた。	継続
②	昇任試験受験の奨励	職員課	引き続き女性職員が受験している。	引き続き女性職員の受験について勧奨している。	継続
③	管理職に占める女性職員の割合を高める よう努める	職員課	課長補佐以上 130人中21人(16.2%) (平成24年度130人中22人(16.9%))	課長補佐以上 133人中21人(15.8%)	継続
④	職員研修の充実 ・男女共同参画推進のための研修	職員課	市独自研修として男女共同参画・セクシュアル・ ハラスメント防止研修を実施。 受講者数21人(男性19人、女性：2人) 市独自研修としてポジティブ・アクション推進 研修を実施。 受講者数36人(男性34人、女性2人) 東京都市町村職員研修所の男女共同参画社会形 成研修に派遣。 派遣数9人(男性：4人、女性5人)	市独自研修として男女共同参画・セクシュアル・ハラス メント防止研修を実施。 受講者数16人(男性16人) 東京都市町村職員研修所の男女共同参画社会形成研修に 派遣。 派遣数21人(男性：16人、女性5人)	継続
⑤	職場内における慣行・男女の役割分担の 見直し	各課	(職員課) 従来から男女で差を設けていない。	(職員課) 従来から男女で差を設けていない。	継続
⑥	セクシュアル・ハラスメント防止に対する苦 情相談・防止策の充実	各課	(職員課) 相談等の実績なし。	(職員課) 相談等の実績なし。新任研修等で、相談先等を説明して いる。	継続

(課題2) 地域活動における男女共同参画の促進

施策1 地域活動の推進

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度 予定
①	地域活動等における男女共同参画の啓発				
	・自治会やPTA等への参画促進	旧)地域文化課 新)市民協働・男女参画推進課	自治会及び地域活動等に必要な情報を、適宜自治会長宛に配信した。	自治会及び地域活動等に必要な情報を、適宜自治会長宛に配信した。	継続
		旧)生涯学習推進課 新)地域学習支援課	青少年対策地区委員会の代表者に啓発パンフレット等を配付した。	青少年対策地区委員会の代表者に啓発パンフレット等を配付した。	継続
・各種講座の開設による学習機会の提供と社会参加の促進	公民館	<p>定期講座では市民講座・シルバー大学・家庭教育・子育て支援に関する講座・女性セミナー・ヤングセミナー・サタデー講座・ジュニア講座・パソコン講座等の実施。 受講：2,063人(81コース、692回実施)</p> <p>地域社会の教育力の向上のために、学習の成果を地域活動に活かすことができる仕組みづくりを推進する。25年度に主催講座から派生した自主サークルは、21サークルで、講座終了後は独自で活動していくことになる。学習をサークル内だけに留めることなく地域の仲間を募り、更には学んだことが地域に還元されるよう指導、助言に努めた。</p>	<p>定期講座では市民講座・シルバー大学・家庭教育・子育て支援に関する講座・女性セミナー・ヤングセミナー・サタデー講座・ジュニア講座・パソコン講座等の実施。 受講：2,006人(88コース、703回実施)</p> <p>地域社会の教育力の向上のために、学習の成果を地域活動に活かすことができる仕組みづくりを推進する。26年度に主催講座から派生した自主サークルは、10サークルで、講座終了後は独自で活動していくことになる。学習をサークル内だけに留めることなく地域の仲間を募り、更には学んだことが地域に還元されるよう指導、助言に努めた。</p>	継続	

施策2 団体への支援と人材に関する情報提供

No.	事業	担当課	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度予定
①	女性団体等活性化に向けての支援と活動拠点整備の検討	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	女性団体等と協力し、男女共同参画センター(愛称:ひらく)の開設10周年記念イベントを開催。 (平成26年1月) 参加者:延べ123人	女性団体等と協力し、男女共同参画センター(愛称:ひらく)での講座やイベントを開催。 元気村ひろば2014(平成26年10月) 参加者:延べ130人	継続
②	人材に関する情報収集の推進	旧)青少年男女平等課 新)市民協働・男女参画推進課	他区市の情報収集を行った。	他区市の情報収集を行った。	継続

4 小平市における市政運営への女性の参画状況

(1) 市議会

		全議員数	女性議員数	割合(%)
平成27年5月1日現在	議員数	28	10	35.7
平成26年4月1日現在	議員数	27	8	29.6

(2) 委員会等

		対象委員会数	うち女性委員の いる委員会数	割合(%)	委員総数	女性委員数	割合(%)
平成27年4月1日現在	行政委員会	5	4	80.0	30	4	13.3
	附属機関	30	28	93.3	431	163	37.8
	その他	13	13	100.0	260	118	45.4
	合計	48	45	93.8	721	285	39.5
平成26年4月1日現在	行政委員会	5	4	80.0	30	4	13.3
	附属機関	28	27	96.4	400	146	36.5
	その他	13	13	100.0	225	108	48.0
	合計	46	44	95.7	655	258	39.4

(3) 小平市職員の男女割合

		管理職 ※課長補佐以上			係長職			その他の職 (主任・主事)			計		
		総数 A	うち女性 管理職数	女性割合 (%)	総数 B	うち女性 係長数	女性割合 (%)	総数 C	うち女性 職員数	女性割合 (%)	A+B+C	うち 女性	女性割合 (%)
平成27年 4月1日 現在	事務系	114	10	8.8	113	25	22.1	357	135	37.8	584	170	29.1
	福祉系	11	11	100.0	12	12	100.0	139	135	97.1	162	158	97.5
	技術系	11	1	9.1	15	4	26.7	61	33	54.1	87	38	43.7
	技能系	0	0	0	0	0	0	79	75	94.9	79	75	94.9
	合計	136	22	16.2	140	41	29.3	636	378	59.4	912	441	48.4
平成26年 4月1日 現在	事務系	108	9	8.3	108	21	19.4	362	132	36.5	578	162	28.0
	福祉系	11	11	100.0	12	12	100.0	139	137	98.6	162	160	98.8
	技術系	14	1	7.1	11	3	27.3	59	30	50.8	84	34	40.5
	技能系	0	0	0	0	0	0	83	79	95.2	83	79	95.2
	合計	133	21	15.8	131	36	27.5	643	378	58.8	907	435	48.0

(4) 委員会等における男女割合 (内訳)

① 行政委員会 (地方自治法第180条の5)

(平成27年4月1日現在)

1	名称	総委員数 ()内は女性		女性/総委員数 割合%	担当課
1	教育委員会	5	(1)	20.0	教育総務課
2	選挙管理委員会	4	(1)	25.0	選挙管理委員会事務局
3	監査委員	2	(0)	0.0	監査事務局
4	固定資産評価審査委員会	3	(1)	33.3	総務課
5	農業委員会	16	(1)	6.3	産業振興課
	合計	30	(4)	13.3	

② 附属機関（法律・条例により設置されているもの（地方自治法第202条の3））

（平成27年4月1日現在）

名 称	総委員数 ()内は女性		市民公募委員 ()内は女性		女性／総委員数 割合%	担当課
1 情報公開・個人情報保護審査会	5	(2)	0	(0)	40.0	総務課
2 情報公開・個人情報保護審議会	8	(2)	4	(1)	25.0	総務課
3 公務災害補償等審査会	3	(0)	0	(0)	0.0	職員課
4 住居表示整備審議会	17	(3)	1	(0)	17.6	市民課
5 防災会議	33	(6)	0	(0)	18.2	防災危機管理課
6 国民保護協議会	34	(5)	2	(1)	14.7	防災危機管理課
7 子ども・子育て審議会	16	(9)	7	(7)	56.3	子育て支援課
8 青少年問題協議会	16	(7)	3	(2)	43.8	地域学習支援課
9 男女共同参画推進審議会	10	(6)	4	(3)	60.0	市民協働・男女参画推進課
10 民生委員推薦会	14	(6)	0	(0)	42.9	生活支援課
11 介護認定審査会	45	(17)	0	(0)	37.8	高齢者支援課
12 障害支援区分判定等審査会	15	(5)	0	(0)	33.3	障がい者支援課
13 予防接種事故調査委員会	5	(1)	0	(0)	20.0	健康推進課
14 国民健康保険運営協議会	16	(3)	2	(1)	18.8	保険年金課
15 廃棄物減量等推進審議会	20	(5)	10	(3)	25.0	資源循環課
16 環境審議会	12	(3)	5	(2)	25.0	環境政策課
17 都市計画審議会	15	(2)	2	(0)	13.3	都市計画課
18 土地利用審議会	5	(1)	0	(0)	20.0	都市計画課
19 地区まちづくり審議会	7	(0)	3	(0)	0.0	都市計画課
20 学校給食共同調理場運営委員会	13	(7)	4	(4)	53.8	学務課
21 小平第三小学校学校経営協議会	13	(10)	3	(3)	76.9	指導課
22 小平第四小学校学校経営協議会	13	(6)	2	(1)	46.2	指導課
23 小平第六小学校学校経営協議会	15	(9)	2	(2)	60.0	指導課
24 小平第七小学校学校経営協議会	11	(7)	0	(0)	63.6	指導課
25 小平第八小学校学校経営協議会	14	(9)	2	(1)	64.3	指導課
26 小平第六中学校学校経営協議会	11	(7)	0	(0)	63.6	指導課
27 社会教育委員	10	(7)	4	(3)	70.0	地域学習支援課

28	文化財保護審議会	10	(4)	3	(0)	40.0	文化スポーツ課
29	公民館運営審議会	13	(8)	5	(3)	61.5	公民館
30	図書館協議会	12	(6)	5	(3)	50.0	図書館
合 計		431	(163)	73	(40)	37.8	

③ その他（要綱等により設置されている類似機関等）

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

名 称	総委員数 ()内は女性		市民公募委員 ()内は女性		女性／総委員数	担当課
					割合%	
1 行財政再構築推進委員会	6	(1)	3	(1)	16.7	行政経営課
2 入札等監視委員会	3	(1)	0	(0)	33.3	契約検査課
3 技能功労者選考委員会	5	(1)	0	(0)	20.0	産業振興課
4 農のあるまちづくり推進会議	14	(6)	5	(3)	42.9	産業振興課
5 地域保健福祉推進会議	15	(5)	0	(0)	33.3	生活支援課
6 介護保険運営協議会	14	(5)	5	(2)	35.7	高齢者支援課
7 地域自立支援協議会	15	(5)	0	(0)	33.3	障がい者支援課
8 保健事業連絡協議会	18	(7)	0	(0)	38.9	健康推進課
9 献立作成委員会	17	(13)	8	(8)	76.5	学務課
10 就学支援委員会	94	(50)	0	(0)	53.2	学務課
11 小学校給食運営委員会	38	(17)	0	(0)	44.7	学務課
12 特別支援教育専門家委員会	8	(3)	0	(0)	37.5	指導課
13 緑化推進委員会	13	(4)	6	(4)	30.8	水と緑と公園課
合 計	260	(118)	27	(18)	45.4	

(参考) 管理職の状況 (26 市比較)

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

	管理職			うち事務系職員											
	管理職総数	うち女性管理職数	女性割合 (%)	管理職数 A	うち女性管理職数	女性割合 (%)	係長職数 B	うち女性係長数	女性割合 (%)	その他の職 C	うち女性職員数	女性割合 (%)	(A+B+C) 総数	うち女性	女性割合 (%)
八王子市	163	16	9.8	130	14	10.8	415	35	8.4	1,087	470	43.2	1,632	519	31.8
立川市	85	11	12.9	66	10	15.2	168	40	23.8	455	161	35.4	689	211	30.6
武蔵野市	102	8	7.8	77	7	9.1	156	52	33.3	385	207	53.8	618	266	43.0
三鷹市	150	34	22.7	100	13	13.0	94	22	23.4	372	174	46.8	566	209	36.9
青梅市	177	41	23.2	59	5	8.5	139	12	8.6	387	166	42.9	585	183	31.3
府中市	117	12	10.3	102	10	9.8	130	16	12.3	543	291	53.6	775	317	40.9
昭島市	68	6	8.8	58	6	10.3	108	24	22.2	265	106	40.0	431	136	31.6
調布市	146	18	12.3	125	16	12.8	171	57	33.3	552	260	47.1	848	333	39.3
町田市	276	43	15.6	151	11	7.3	331	74	22.4	943	432	45.8	1,425	517	36.3
小金井市	69	12	17.4	63	12	19.0	85	20	23.5	265	105	39.6	413	137	33.2
小平市	133	21	15.8	108	9	8.3	108	21	19.4	362	132	36.5	578	162	28.0
日野市	207	47	22.7	110	19	17.3	95	30	31.6	418	171	40.9	623	220	35.3
東村山市	76	4	5.3	76	4	5.3	151	28	18.5	321	155	48.3	548	187	34.1
国分寺市	69	5	7.2	61	4	6.6	101	21	20.8	262	114	43.5	424	139	32.8
国立市	53	4	7.5	43	4	9.3	62	11	17.7	174	70	40.2	279	85	30.5
福生市	49	4	8.2	47	4	8.5	103	29	28.2	181	70	38.7	331	103	31.1
狛江市	54	10	18.5	44	5	11.4	53	12	22.6	174	72	41.4	271	89	32.8
東大和市	59	5	8.5	54	4	7.4	88	14	15.9	231	99	42.9	373	117	31.4
清瀬市	45	3	6.7	45	3	6.7	61	13	21.3	200	100	50.0	306	116	37.9
東久留米市	48	4	8.3	39	3	7.7	76	18	23.7	257	122	47.5	372	143	38.4
武蔵村山市	51	3	5.9	47	3	6.4	84	12	14.3	185	80	43.2	316	95	30.1
多摩市	68	8	11.8	58	8	13.8	123	29	23.6	438	220	50.2	619	257	41.5
稲城市	91	17	18.7	47	9	19.1	77	22	28.6	197	71	36.0	321	102	31.8
羽村市	62	8	12.9	62	8	12.9	75	5	6.7	150	82	54.7	287	95	33.1
あきる野市	55	1	1.8	44	1	2.3	106	19	17.9	174	65	37.4	324	85	26.2
西東京市	79	10	12.7	71	5	7.0	166	38	22.9	347	164	47.3	584	207	35.4

東京都	3,139	550	17.5	1,629	273	16.8	5,072	1,624	32.0	12,508	6,610	52.8	19,209	8,507	44.3
-----	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	-------	------	--------	-------	------	--------	-------	------

東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課「区市町村男女平等参画施策推進状況調査報告書」より作成

第二次小平市男女共同参画推進計画
小平アクティブプラン2 1 推進状況調査報告書
(平成26年度)

平成27年9月発行

編集・発行 小平市地域振興部市民協働・男女参画推進課
〒187-8701
東京都小平市小川町2丁目1333番地
電話 042-346-9618
電子メール kyodo-danjo@city.kodaira.lg.jp

価格 ¥170